



平成 26 年 8 月 26 日

各 位

会社名 株式会社 シグマクシス
代表者名 代表取締役会長兼社長 倉重 英樹
(コード番号：6088 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 田端 信也
(TEL. 03-6430-3400)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月9日に公表いたしました平成27年3月期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 3 月期第 2 四半期 (累計) (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,530	200	200	130	6.57
今回修正予想 (B)	3,425	△450	△450	△590	△29.80
増減額 (B-A)	△1,105	△650	△650	△720	—
増減率 (%)	△24.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期 第 2 四半期)	4,655	398	398	399	88.67

(2) 平成 27 年 3 月期通期 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,700	910	900	600	30.30
今回修正予想 (B)	7,950	0	0	0	0.00
増減額 (B-A)	△1,750	△910	△900	△650	—
増減率 (%)	△18.0	△100.0	△100.0	△100.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	9,680	828	818	723	39.25

注) 当社は、平成 25 年 8 月 16 日付で普通株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っております。また、平成 26 年 4 月 1 日付で普通株式 1 株につき 4 株の株式分割を行っております。平成 26 年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正の理由

(1) 平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

市場変化に対応するべく、システム構築のアプローチに関し、カスタム開発からクラウドサービスやアプリケーションパッケージの活用に移行を行っておりますが、新しいテクノロジーを活用したオフリング（*）の開発およびスキルの転換に係る資源投入活動に想定以上に時間がかかり、顧客に対する営業活動に影響が出たため、売上高、利益面共に計画を下回る見込みとなりました。

(2) 平成 27 年 3 月期通期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

第 3 四半期より、売上高の回復を見込んでおりますが、新しいテクノロジーを活用したオフリングに係る上半期の営業活動の遅れが影響し、当初の通期業績予想の達成は困難であると判断したため、上記のとおり修正することといたしました。

(*) 新しいテクノロジーを活用したオフリング

	オフリング名	概要
1	Global Supply Chain Planning (グローバル・サプライチェーン・プランニング)	クラウド型サプライチェーン・プランニング。共通のプラットフォームを、複数企業が利用することで、企業間の計画情報共有リードタイムをゼロにすると同時に、各社の販売管理、在庫管理、購買機能と連動することで、流通在庫を含めた削減及び販売機会ロスの低減を実現する。
2	Real Digital Store Management (リアルデジタル・ストアマネジメント)	小売業において、各社が有する実店舗情報と EC 情報を統合管理し、効率的な在庫管理や顧客管理を実現する。さらに顧客のもつモバイル端末を重要な顧客接点と捉え、新しいショッピング体験を提供する。
3	Heuristic Work Environment (ヒューリスティック環境構築)	社員の創造性と組織のイノベーション力を高めるために、組織の壁をこえた活動（プロジェクト）、社内に保有する多種多様な人財の能力、経験（ダイバーシティ）の可視化、またいつでもどこでも情報や社員にアクセスできるデジタルモバイルワークプレイスなどを実現する。
4	Global Human Capital Management (グローバル人財マネジメント)	クラウド型統合人財管理システムの活用を通じ、TCO を大幅に削減すると同時に、グローバル人財の効率的なマネジメントを実現する。
5	Business Management 3.0 (ビジネスマネジメント 3.0)	市場変化に即応するグローバル経営管理に必要な各種経営情報を、リアルタイムに提供する未来予測型の経営管理システム。さらにモバイル環境でのビューアー機能を提供することで、手計算やメールでの情報共有の手間をゼロにすると同時に、ペーパーレスマネジメントを実現する。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上